


活動成果報告書

令和元年度（第23回）「チヨダ地域保健推進賞」

| | |
|---|--|
| 活動テーマ 地域と共に支え、生きる力を育む『弁当の日』 | |
| グループ名称・氏名(グループの場合は代表者名) 南丹市 福祉保健部 保健医療課 代表者：越浦 恵 |  |
| 勤務先：南丹市役所 所 属：福祉保健部 保健医療課 所在地：〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47 TEL：0771-68-0016 FAX：0771-63-0653 | |

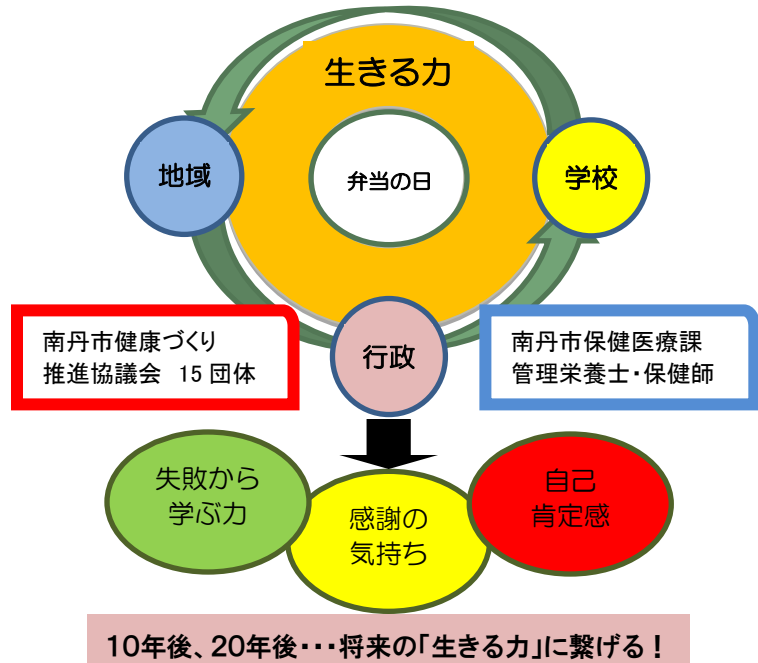
◇活動方針◇

「生きる力を育む」食育の取り組みとして、平成22年度から南丹市健康づくり推進協議会と管理栄養士・保健師が市内の小学校に出向き、献立作成、買い物、調理、弁当詰め、片付け迄を児童とともに行う、生きる力を育む「弁当の日」を実施しています。

実施校での「食育実践目標」に寄り添いながら、学校での食育を、子どもたちの身近な存在である地域や行政が共に支援し、地域や団体、学校の健康づくり、人づくり、まちづくりの推進を目指しています。

◇活動内容◇

- ①年度始めに、学校の食育実践目標に基づき、管理栄養士・保健師が実施校の学校長、担当職員と打合せを行ない年間の実施計画を立てる。
- ②南丹市健康づくり推進協議会の会議で実施校の年間計画を報告し各委員に協力依頼を行なう。（会議：年3回）
- ③実施校の実施計画に基づき、管理栄養士・保健師・南丹市健康づくり推進協議会が支援を行う。
- ④取組前、取組後に児童、保護者、地域、教職員（事後のみ）に対し、アンケートを実施。結果を学校、南丹市健康づくり推進協議会に報告。



活動成果報告書

⑤実施校（4校）の活動状況

| | 南丹市立Y小学校 | 南丹市立S小学校 | 南丹市立T小学校 | 南丹市立M小学校 |
|------|-------------------|-----------------------|-------------|-------------|
| 4～5月 | 打合せ | 打合せ | 打合せ | 打合せ |
| 6月 | 梅干漬け（塩漬け） | 学年PTA「弁当の日」 | 栄養指導/弁当詰 | |
| 7月 | 梅干漬け（土用干し） | 夏休み「おかずづくり」 | 夏休み「おかずづくり」 | |
| 10月 | 栄養授業「弁当の日」に向けて | 栄養授業 | | |
| 11月 | 献立作成・調理実習 | 献立作成・調理実習 | 献立作成・調理実習 | 学年PTA「弁当の日」 |
| 12月 | 「弁当の日」 | 栄養授業 | 「弁当の日」 | 調理実習で「弁当の日」 |
| 1月 | 大根の収穫 切干し大根づくり | 買い物実習/「弁当の日」 /公開授業 | | |
| 2月 | | | 保護者へ「弁当の日」 | |
| 対象 | 5年生、6年生 | 6年生 | 5年生、6年生 | 6年生 |

◆活動成果◆

取組後のアンケートのまとめより

児童について

- ・子ども自身の自己肯定感が高まり人格形成に繋がった。
- ・子ども達に家族をはじめ地域の皆さんに対し感謝の気持ちが生まれた。
- ・自分たちが大人になる為にどんな力が必要か、児童自身が自覚できた。

保護者について

- ・子どもの取組む姿から、食育の大切さを再確認することが出来た。
- ・子どもの食に対する意欲や行動変容から、子どもの成長を認める保護者が増加した。
- ・取組を通して、家庭での生活習慣の大切さや食育推進、健康づくりの話をする機会が増えた。

学校について

- ・学校が中心となり、子どもを通じて家族、地域の健康づくり・食育推進の発信ができた。
- ・地域の人材の発掘が出来、教育の場に新しい人材が入り、子ども達に豊かな学びが出来た。

地域について

- ・以前は小学校に各種団体が入る事が難しかったが、「弁当の日」の取り組みを通し、学校と連携した事業が年々増加し、組織自体の活性化が図れ、組織の成長、活動の展開に繋がった。
- ・「弁当の日」に関わる事で、「食べ物を収穫し調理して食べる」喜びや、感動を肌で感じ取り共感し、支援した者もこの取り組みを通し、元気になる事が出来た。



塩漬け



土用干し

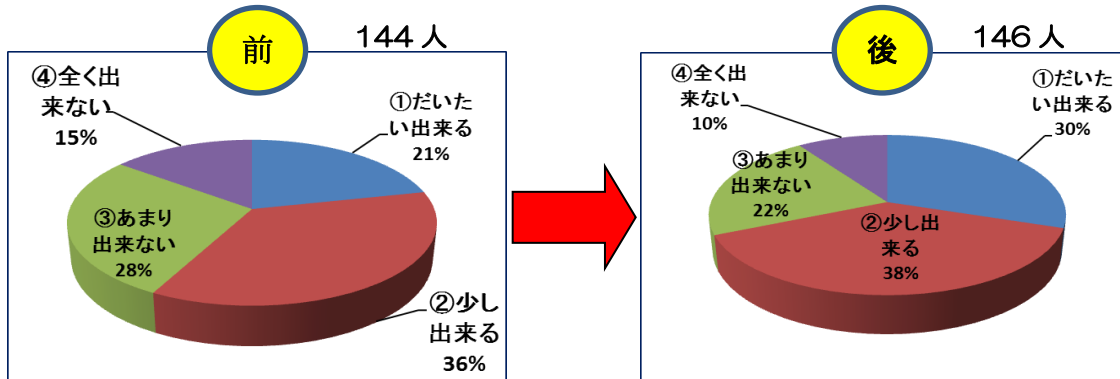
梅干し漬けの支援

活動成果報告書

・アンケートによる前後比較による成果

児童

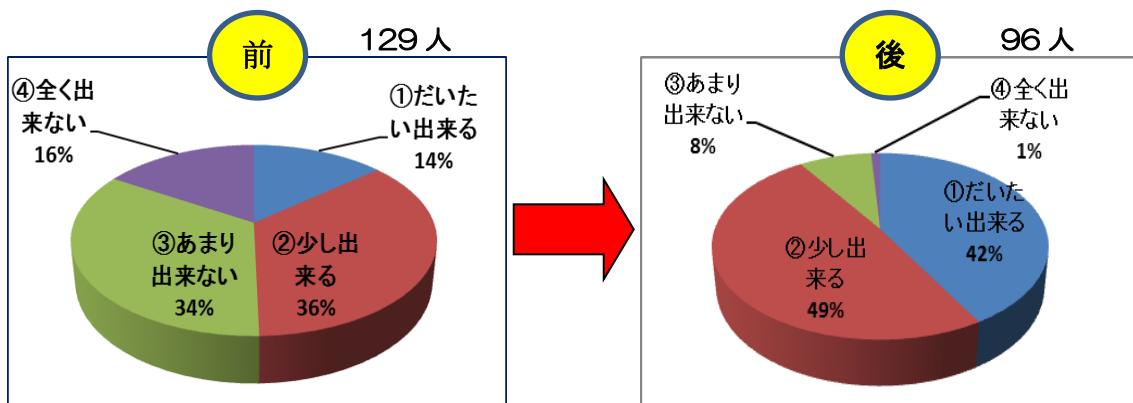
あなたは、買い物から後片付けまでを含めて、自分で弁当づくりが出来ますか？



★全ての項目において改善がみられた。

保護者

お子様は、買い物から後片付けまでを含めて、自分で弁当づくりが出来ると思いますか？



★だいたい出来る割合が取組後では約3倍に増加。全く出来ない割合が1%に改善がみられた。

◇今後の計画◇

この取組は、普段学校の授業では学べない「生きる力を育む」内容を、管理栄養士・保健師が学校と地域を結び、まち全体で子ども達の健康づくり・食育推進を実施している。その中で、年度毎のアンケート評価では、ほぼ事業終了後には効果が見られている。上記に挙げた結果は、特に大きな効果が見られた内容で、子どものみならず保護者も子どもの「生きる力」を確認し、成長を認めている結果が伺える。同時に、子どもから保護者への食育発信の場にもなっている。行政として、この取組をきっかけに、難しかった小学校の食育に関する事が出来、その結果、子どもの頃からの健康づくり食育推進に携わるきっかけとなった。今後も取組の調整を行政がおこない、市内全体に「弁当の日」が広がるよう未実施である小中学校へのアプローチ、健康づくり推進協議会（地域）が、「弁当の日」で元気になり、南丹市が健幸なまちになる事を目指し取組みを継続していく。